

ハウスの こころ



株主のみなさまへ

当社グループは、2024年4月より新たにスタートした第八次中期計画において、“「食で健康」クオリティ企業への変革<第二章>グローバルなバリューチェーン構築による成長”をテーマに掲げ、グローバルにバリューチェーン体制を構築し、将来に向け持続的に成長できる礎を築くと同時に、資本コストを意識した経営を進め、企業価値向上に向けた取組を進めております。

当上期の主な取組み状況について、香辛・調味加工食品事業では、家庭用事業において前々期及び前期に行った価格改定による新売価定着と販売数量の回復に努め、ルウカレー、スパイスおよびレトルトカレーが堅調に推移しました。業務用事業においても大手ユーザーへの新規導入が進み、販売が好調に推移しております。海外食品事業では、タイの機能性飲料事業においてはコロナ期間中の特需が消滅して縮小傾向にある市場のなかで競合に打ち勝ち、厳しかった前期に対して売上を回復いたしました。以上のことなどから上期の連結業績は増収増益となりました。また、経常利益は増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期に退職給付制度改定益を計上した反動により減益となりました。

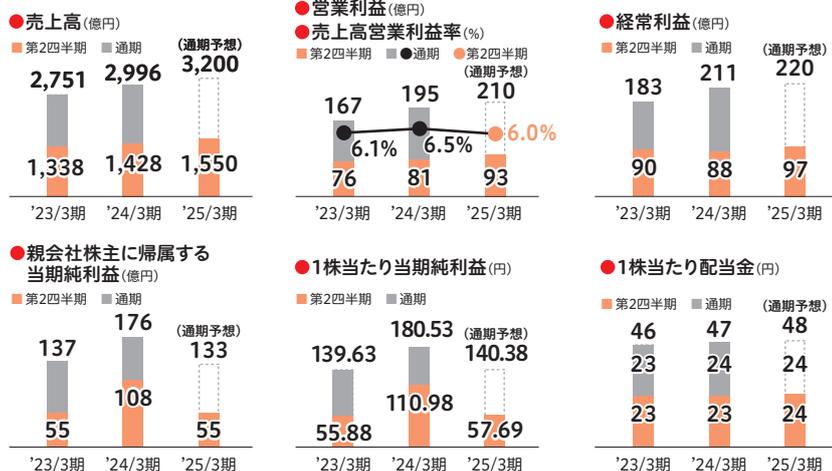
なお、中間配当金につきましては、期初発表予想のとおり、前期中間より1円増配の1株につき24円としております。また、期末配当金は1株につき24円、当期の年間配当金は1株につき48円を予定しております。



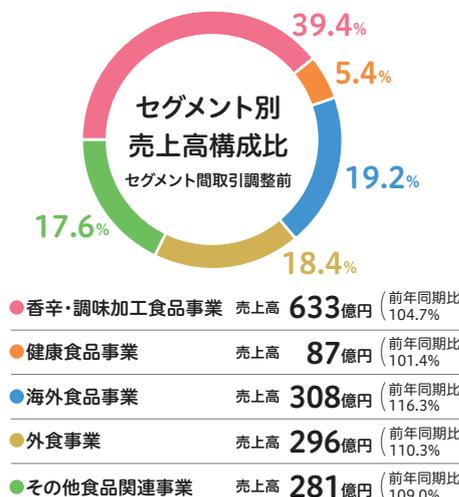
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長

浦上 博史

連結業績ハイライト 2025年3月期[第2四半期] 2024年4月1日→2024年9月30日



セグメント別業績ハイライト



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しており、前中間連結会計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。なお、2022年改正会計基準については第20-3項ただし書きに定める経過措置を適用し、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)については第65-2項(2)ただし書きに定める経過措置を適用しております。この結果、当中間連結会計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

※当社は当中間連結会計期間より「信託型社員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」を導入しており、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、ハウス食品グループ本社社員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております。





ハウス食品グループの環境取組

人と地球の健康 ～「循環型モデルの構築」への取組～

ハウス食品グループは、「食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共に作るグッドパートナーをめざします。」というグループ理念のもと、本業を通じて健全な社会とすこやかな暮らしに貢献するため、環境に配慮した企業活動をおこない、恵み豊かな地球の存続に貢献いたします。

原料調達・研究開発・製造・販売から食卓に届くまでに生じる様々な環境負荷に対して、国内外のグループ会社で取組を進めております。

詳細は当社HPや統合レポートなどをご確認ください。

ハウス食品グループ本社株式会社
取締役
コーポレートコミュニケーション本部長
デジタル戦略本部・
国内関係会社事業推進部担当

佐久間 淳



～環境負荷の低い(低CO₂)電力を国内グループ拠点で使用～

JFEエンジニアリングとの協業により
国内最多8社18拠点でCO₂を削減

ハウス食品(株)静岡工場に発電施設「ガスコージェネレーションシステム」を設置し、発電した低CO₂電力をグループ国内拠点に融通する仕組みの運用を2024年4月から開始しました。これにより、CO₂を年間5,300t、対象拠点におけるCO₂を16.3%削減見込です。

詳細は当社HPなどをご確認ください。

<https://elb.housefoods-group.com/sustainability/ecology/globalheating/>

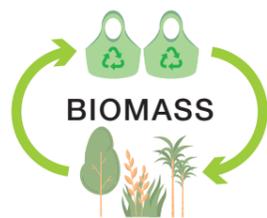


～再生可能な原料に変える～

植物由来の原料を一部使用した
バイオマストレイを使用

石油に依存せずに、地上の二酸化炭素増加に影響を与えない植物由来の原料を一部使用した「バイオマストレイ」などへの製品包装の変更を進めております。

製品における環境に配慮した再生可能資源の活用を進めてまいります。



「バリモントカレー大箱(230g)」タイプの製品のトレイにバイオマストレイを使用



～出てしまったものは価値あるものへ～

野菜くずを使用した堆肥を
自社わさび農園で活用

インドネシアでわさび栽培・加工や、オクラなどその他野菜や果物加工など農産加工事業をおこなっているジャワアグリテック社では、加工時に発生する野菜くずの堆肥化に技術が必要であることから、野菜くずを廃棄せざるを得ませんでした。しかし、専門家などと共同で研究を重ねて堆肥化に成功し、自社わさび農園で活用しております。原材料の加工過程で発生してしまうものを有効活用する取組を進めてまいります。



規格外のスパイスをお線香に有効活用

スパイスが持つ香りが評価され、今まで規格外で廃棄されていたスパイスがお線香に活用されました。それぞれ特徴のある香りを持つスパイスと、香りを楽しむお線香を掛け合わせることで花の香りに奥深さを出すことができました。製造過程で発生してしまうものから新たな価値を生み出して有効活用する取組を進めてまいります。



㈱日本香堂様から発売中の「花風 PLATINA BlueBell(ブルーベル)」と、シナモンを活用した「花風PLATINA Blue Water Lily」

ハウス食品グループ ファミリーコンサート 開催のご案内

株主のみなさまに「ハウス食品グループ ファミリーコンサート」ご招待企画をご用意いたしました。クラシック音楽に気軽に触れていただき、クラシック音楽の美しさをお楽しみください。

詳細につきましては、対象の株主さまに「ハウス食品グループ ファミリーコンサートの案内」を同封しておりますので、ご確認ください。



©上野隆文

ファミリー
コンサート
申込サイト



各種IR資料など

■ 第八次中期計画



■ 統合レポート



■ コーポレート・ガバナンス 報告書



■ 決算説明会



■ サステナビリティ情報



株主優待がWEBからお申込み
いただけるようになりました。



詳細は同封の
「株主優待の
ご案内」をご覧
ください。

優待WEB申込はこちら



株式に関する手続きのお問い合わせ先

お手続き内容	口座の種類	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続		口座を開設されている証券会社	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031
郵送物の発送と返戻に関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部	
支払期間経過後の配当金に関するご照会		☎ 0120-782-031	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ			

* 株券電子化実施（2009年1月5日）に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

株式に関するその他の お問い合わせ先

ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 電話06-6788-1214
受付時間 平日9時~17時(夏期休暇・年末年始休暇および創業記念日(11月11日)を除く)